

令和7年度（2025年度）第1回東海市地域公共交通会議会議録

○会議の名称 令和7年度（2025年度）第1回東海市地域公共交通会議

○開催日時 令和7年（2025年）6月27日（金）

午後3時から午後5時20分まで

○開催場所 東海市役所302会議室（3階）

○出席委員 稲吉豊治（会長）、齋藤誠（副会長）、嶋田喜昭（議長）、
橋本大輔（代理）、柴田浩伸（代理）、稲野勝（代理）、南伸幸、
小島浩資、湯浅一成、榑原栄一、片桐真砂子、竹内祐一、
坂本美和子、服部和子、三井輝章、矢野肇、細川至、
山田慎児（代理）、桑山忍、北川秀一（代理）、松岡直人（代理）

○欠席委員 小林裕之、安田譲、今井聡至

○事務局 都市建設部長、都市計画課長、同主幹、同統括主任、同主任2名、
同主事、教育委員会スポーツ課長、同主事

○オブザーバー 株式会社アイシン2人

○傍聴者の数 7人

○議題及び審議の概要

1 開会のことば

2 会長あいさつ

（会長）

この会議の昨年度の大きな出来事としては10月に循環バスのダイヤ・ルート再編及びデマンド交通「チョイソコとうかい」の実証実験の開始があった。

本日の会議では循環バスの利用状況を始めとした5件の報告事項、令和6年度東海市地域公共交通会議決算を始めとした5件の議案について協議いただく。

公共交通の利用者ニーズが多様化する中、本市の公共交通がより一層充実し、持続可能なものとなるよう委員の皆様にはそれぞれの立場で忌憚のない意見をいただきたい。また、多くの議題があるため円滑な会議の進行に協力をお願いしたい。

3 委員紹介

各委員及び事務局から自己紹介

4 副会長、議長及び監事の選出について

会長から東海市地域公共交通会議設置要綱第5条第3項に基づき副会長の指名、同条第5項に基づき議長の指名、第10条第1項の規定に基づき監事の指名

副会長 齋藤誠

議長 嶋田喜昭

監事 服部和子 坂本美和子

(副会長)

循環バスに関しては市民の足としての役割があり、改善すべきところがあると思っている。昨年からデマンド交通の実証実験を実施しているが会員になった知人から「あれはよかった」と言われた。これからさらに知名度を上げて利用者を増やしていくのが課題だと思っている。

(議長)

東海市の地域公共交通がより良いものになるよう皆様と協議をしていきたい。

5 報告事項

(1) 地域公共交通会議について

中部運輸局愛知運輸支局から資料1に基づき説明

(議長)

1 ページのバス輸送人員の推移のグラフについて横軸が平成26年度までしか記載がないが、直近の状況はどれくらいか。

(委員)

具体的な数字はわからないがコロナ禍で大きく減少し、平成26年度の数字には戻っていない。

(2) 令和6年度（2024年度）第4回会議録の確認について

事務局から資料2に基づき説明

(3) 循環バスの利用状況について

事務局から資料3に基づき説明

(議長)

コロナ禍以降、利用者数は徐々に回復傾向であったが、令和6年10月のダイヤ・ルート再編により、利用者数が大きく減少しており、ダイヤ・ルート再編を行うと、ほかの地域でも同様の傾向が見られる。今年度に入ってから、前年同月と比較し、減少幅が小さくなっており、回復傾向にあるため、引き続き経過観察をしていきたい。

(4) 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について

事務局から資料４に基づき説明

(議長)

加木屋中ノ池駅の駅前広場の整備のスケジュールについて教えてほしい。

(事務局)

加木屋中ノ池駅は令和６年３月に開業している。加木屋中ノ池駅は北口と南口の２つの駅前広場を整備する計画になっており、令和６年度に北口駅前広場が完成した。南改札口が今年度中にオープンする予定となっており、その後、令和８年度に駅前広場を整備する予定である。南口の駅前広場には、循環バスのバス停を設置する予定であり、今後、加木屋中ノ池駅前に乗り入れをして、鉄道との接続を考えている。

(5) 東海ハーフマラソン２０２５について

事務局から資料５に基づき説明

(議長)

開催内容で昨年度から変更した点はあるか。

(事務局)

参加料金を値上げした。交通規制の変更はない。

(委員)

当日のバスの運行に関して、昨年度は特に問題はなかったか。

(事務局)

バスの運行に関しては、問題はなかったが、当日コールセンターへの問い合わせとして、一部運休の案内をバス停に掲示してあったものの、気付かずバス停に待ち続けていた利用者がいて、苦情をいただいた。引き続き、市ホームページや広報紙等により、周知に努めていきたい。

(委員)

東海秋まつりでは循環バスを無料運行しているが、東海ハーフマラソンでは循環バスの無料運行はしないのか。

(事務局)

現在、東海秋まつりと東海フラワーショーで無料運行をしており、それぞれ開催会場に駐車場が少なく市役所を駐車場として、会場までのシャトルバスを運行しているため、利便性向上とらんらんバスの利用促進と合わせて無料で運行して

いる。

また、東海ハーフマラソンは、会場である太田川駅周辺に交通規制がかかること及び休日ダイヤが太田川駅中心として運行していることにより、運休する便が発生するため、無料運行はしていない。

(委員)

路線バスへの影響は無いか。

(委員)

上野台線については影響がある。規制方法・規制時間等詳細が把握でき次第、対応を決めて周知したい。

(委員)

交通規制図についてはどのように配布されるのか。規制の時間が長いため、配送業者等は事前の準備が必要となる。企業向けに早い段階で配布していただきたい。

(事務局)

交通規制図は11月1日号広報に折り込みチラシとして配布する。コース沿道の営業所には直接店舗を回って周知する。周辺の運送業者にも直接周知をしているが、すべてを網羅しているわけではないため、広く周知できるよう努めていきたい。

(議長)

事業者への説明はいつ頃からか。

(事務局)

7月から順次周知する予定。

6 協議事項

- (1) 議案第1号 令和6年度(2024年度)東海市地域公共交通会議決算について

事務局から資料6に基づき説明

監事による監査報告

<議長による承認採決>

(一同) 承認

- (2) 議案第2号 令和8年度(2026年度)地域公共交通確保維持事業案について

事務局から資料7に基づき説明

(議長)

循環バス利用者数の令和８年度目標が３５万１千人とかなり厳しい値となっているが訂正はできないのか。

(事務局)

地域公共交通計画に基づいた目標設定となっている。ダイヤ・ルート再編による影響を見込めていなかったこともあるが、目標に向けて引き続き利用促進を図っていく。

(議長)

４ページの下部に示されたタイトルを５ページに移動したほうが見やすいのではないか

(事務局)

修正させていただく。

<議長による承認採決>

(一同) 承認

(3) 議案第３号 東海市地域公共交通計画の事業評価について

(4) 議案第４号 地域公共交通計画の推進について

事務局から資料８及び資料９に基づき一括説明

(委員)

資料８－１、指標１のうち「市内を運行する路線バスの利用者数」については、実績数値で既に令和１０年度目標値を達成している。目標値の見直しをしてもよいのではないかと。また、循環バスの利用者数についても目標達成が難しいのであれば、目標値の再設定をしてもよいのではないかと。

資料９の今年度実施事業の中で英語版らんらんバスガイドブックデータをＨＰに掲載とあるが、観光案内所にチラシや二次元バーコードの掲示などの外国人の方にＨＰを見てもらう工夫等を観光部局と連携して実施する必要があると思うが、そのような取り組みの方向性や考え方があれば説明いただきたい。

(事務局)

路線バス利用者数についてはコロナ禍での目標設定ということもあり、コロナ後は回復している状況で目標を見直すことは必要だと考えているため、中部運輸局と相談しながら検討したい。

循環バスの利用者数についても、目標値の見直しについて同様に中部運輸局と

相談しながら検討したい。

英語版ガイドブックについては頂いた意見等を踏まえ、太田川駅にある観光物産プラザや市民窓口等で外国人の方に案内ができるように関係部局と連携していきたいと考えている。

(委員)

資料 8－3 「利便性の高い地域公共交通の実現」について知多市・大府市と情報交換とあるが、東浦町についてはどうか。

(事務局)

東浦町は、知多市や大府市のように共同バス停の設置等はないが、知北平和公園のバス停等は東浦町とのバス停同士が近いところもあるため、東浦町の担当部局とも連携していきたいと考えている。

現時点でも東浦町の公共交通に関する冊子に東海市の循環バスについても掲載されており、東海市の窓口でも東浦町のバスガイドマップを配布している。

<議長による承認採決>

(一同) 承認

(5) 議案第 5 号 デマンド交通「チョイソコとうかい」の実証実験について

事務局から資料 10 に基づき説明

(委員)

資料 10－1 の無料乗車券を 50 枚利用とあるが配布枚数は全体で何枚か。

(事務局)

会員向けに 299 枚配布している。3 月、4 月の新規会員分 60 枚を含めると合計 360 枚程度配布した。

(委員)

50 枚ということであまり乗るきっかけにならなかったように見える。今後利用促進として実施を考えているものがあるか。

(事務局)

今後について現時点では具体的には考えていない。

利用促進として、昨年度の事例では、豊明市と幸田町と連携して会員限定のいちご狩りツアー実施し、実施状況をチョイソコ通信にて会員にお知らせした。

実際に利用された方の声を届けることも重要だと考える。

また、利用していない方の中には、運転免許をもっていて、普段車に乗ってい

る方が多いため、鉄道駅や駐車場が少ない場所への移動手段としての活用を促し、利用促進につなげていきたい。

(議長)

アンケートの結果を踏まえて運行時間の延長や予約時間の繰り下げを行うことも利用促進になるということだと思うが、10月1日からではなく早めることはできないか。

(事務局)

今の実証実験が9月末までとなっているのでそれまでの期間は条件を変更せずにデータを取り、10月からは条件を変えて追加データをとるという考えで10月1日からとしている。

(委員)

富木島地区にもデマンド交通を運行していただきたいので、追加の実証期間が終わった後は、実証実験の地域が拡大したり、市内全域に拡大したりする予定はあるか。

(事務局)

実証実験後は実験を行ったエリアで本格運行を導入するかという判断になる。ほかの地域については現時点では決まっていないが、既存の交通サービスとの兼ね合いを考えながらデマンド交通以外のモビリティサービスも含めて検討していきたいと考えている。

(委員)

実証実験期間の延長、運行時間の延長によって利用者数が増えることが予想されるが、車両台数を増やすことは考えているか。

(事務局)

現状では乗合率が低く、運行していない時間帯もあるため車両台数は1台のままで考えている。

(事務局)

追加実証期間で追加実施する項目として、エリア外の富木島診療所を停留所に追加することを検討している。

女性のがん検診については市内で富木島診療所と西知多総合病院の2か所しか実施していない項目があり、アンケートや説明会でも富木島診療所の追加の要望があるため、富木島診療所と調整ができればエリアを拡大して追加したいと考

えている。

（議長）

デマンド交通についてはタクシー事業者と競合する面もあるが、タクシー事業者への影響は無いか。

（事務局）

市内４社のタクシー業者にアンケート調査を行った際に、配車アプリの導入開始時期と重なったため、デマンド交通の影響を把握するのは難しいが、配車アプリの導入により、タクシー利用者は増えていると聞いている。

<議長による承認採決>

（一同）承認

議題終了

知多乗合株式会社より知多バス上野台線、横須賀線の６月３０日からのダイヤ改正に関するお知らせ

７ 閉会のことば